



NOZAWA ONSEN
SNOW RESORT

株式会社野沢温泉 索道安全報告書

令和6年10月～令和7年9月

野沢温泉スキー場 ゴンドラ・リフト

- ・ 長坂ゴンドラリフト
- ・ 日影ゴンドラリフト
- ・ やまびこフォーリフト
- ・ やまびこ第2フォーリフト
- ・ スカイライン連絡ペアリフト
- ・ 上ノ平フォーリフト
- ・ パラダイスフォーリフト
- ・ 湯の峰ペアリフト（休止）
- ・ 水無トリプルリフト（休止）
- ・ チャレンジペアリフト
- ・ ユートピアペアリフト
- ・ カンダハーペアリフト
- ・ 日影フォーリフト
- ・ 日影トリプルリフト
- ・ 長坂トリプルリフト
- ・ 長坂フォーリフト
- ・ 長坂ゴンドラ連絡ペアリフト
- ・ 柄沢ペアリフト（休止）

1. 利用者の 皆様へ

弊社の索道事業に対し、日頃のご利用とご理解に感謝申し上げます。

スキー・スノーボードは、大自然の中を爽快に楽しく満喫することの出来る素晴らしいスノースポーツです。

弊社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組や安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 野沢温泉

片桐 幹雄



2.基本方針と 安全目標

(1)基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。

「安全基本方針」を次の様に掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め
疑義のある時は、最も安全と思われる取扱に努めること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人名救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行うこと。
- ⑥ 情報は漏れの無いよう迅速、正確に伝えること。

2.基本方針と 安全目標

(2)安全目標

索道輸送安全目標は次のとおりです。

項目	内容
設備不具合による事故	事故を発生させない
人身障害事故	事故を発生させない

3. 事故等の 発生状況と 再発防止処置

(1) 索道運転事故

- ・ 国土交通省への索道運転事故報告はありません。

(2) 災害・悪天候

- ・ 災害による運行停止はありません。
- ・ 強風や雷による運行停止は、安全確保のため状況により実施。

(3) インシデント「事故の兆候」

- ・ 国土交通省へのインシデント報告は一件ありました。

4. 輸送の 安全確保の 為の取組み

(1)人材教育

- 令和7年索道技術管理者研修会に出席。
- 索道協会長野地区部会が開催する 7月、11月の技術研修会に出席。
- 当社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業 開始前、社員・冬期従業員に施設及び取扱いについての、 安全教育を実施しています。



R7.7/3 長野地区部会 技術研修会



R6.11/6 長野県事業者協議会 事故防止研修会

4. 輸送の 安全確保の 為の取組み

(2) 緊急時対応訓練

- ・ シーズン中、月1回
救助訓練を実施しています。（全従業員を対象）



4. 輸送の 安全確保の 為の取組み

(3)安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、索道施設整備実施計画に基づき施設の整備を実施しています。おもな投資といたしまして

- ・ 制御装置更新
- ・ 高圧受電設備更新

- ・ 電動機オーバーホール
- ・ 塗装工事
- ・ 握索機更新 19台
- ・ 通信線張替工事
- ・ エンドカーブチェーンレール交換

やまびこ第2フォーリフト
日影ゴンドラリフト
チャレンジペアリフト
ユートピアペアリフト、遊ロード
長坂ゴンドラ連絡リフト
やまびこフォーリフト
長坂フォーリフト
長坂フォーリフト
日影ゴンドラリフト
日影ゴンドラリフト

4. 輸送の 安全確保の 為の取組み

(3)安全のための投資と支出

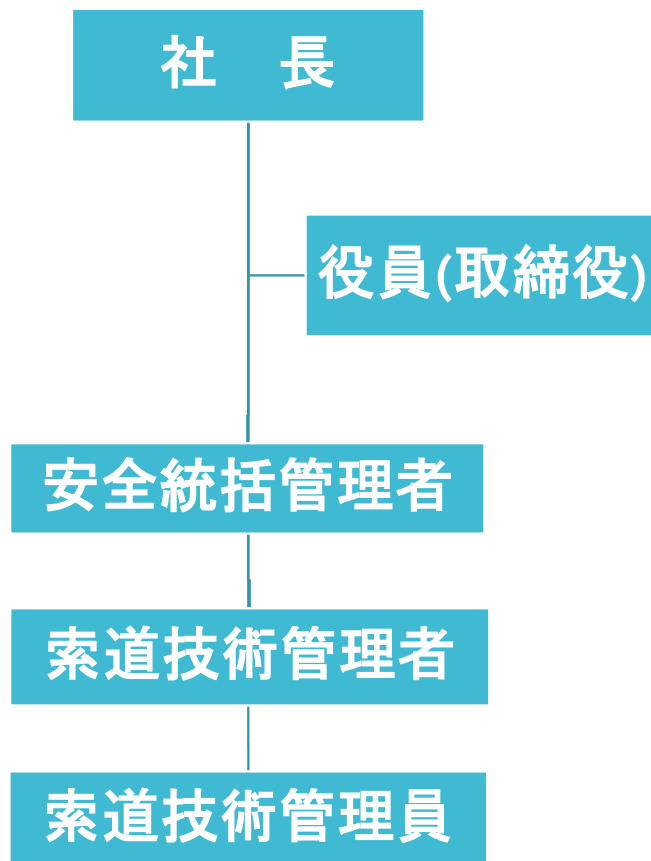
通常整備といたしまして

- 握索機整備
日影ゴンドラリフト 46台
上ノ平フォーリフト 76台
- 支柱金物交換
上ノ平フォー、やまびこフォー
日影ゴンドラ、パラフォー
- 搬器ハンガーブッシュ交換
日影フォー

各ゴンドラ、各リフト・給油、支柱金物類給油、場内設備Vベルト・押送
タイヤ・オイル交換、握索機点検・給油等、整備を行いました。

5. 当社の 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

6. 利用者の 皆様の連携と お願い

(1)「お客様の声をかたちにしています」

より安全で信頼される索道をつくるため、皆さまからお寄せいただいた声を役立てています。

(2)リフト乗車時の注意事項

- ①乗り方に慣れないお客様は、係員にその事を申し出て下さい。
- ②空き缶・煙草の吸殻・その他の物品を、乗っているリフトから
投げ捨てないで下さい。
- ③搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
- ④衣服・携帯品(リックの紐)・髪の毛等が、搬器に巻き付かないように注意
して下さい。
- ⑤ゲート通過後は係員の指示に従って下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対する
ご意見をお寄せください。

〒389－2502

長野県下高井郡野沢温泉村大字豊郷7653番地

株式会社野沢温泉

TEL:0269－85－3166

FAX:0269－85－2201

E-mail:info@nozawaski.com



野沢温泉スキー場
SNOW RESORT